年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（1･2学年用） 教科　国語　科目 論理国語

教　科： 国語　　科　目： 論理国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（A発展組：竹内 ）（A標準組：田鹿 ）（B発展組：竹内 ）（B標準組：田鹿 ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 論理国語（大修館書店） ）

教科　国語　の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚や態度を養う。

科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	領域 話・聞	書	読	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　『世界を広げる「批評」の言葉』 【知識及び技能】 筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。		○	○	○	○	○	6
	B 単元　『ミロのヴィーナス』 【知識及び技能】 比喩的な表現に注意しつつ、論の展開をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感　を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ 、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。		○	○	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	C 単元　『家族化するペット』 【知識及び技能】 統計資料や事例と筆者の主張との関係をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、統計資料と本文との関係に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。		○	○	○	○	○	6

1学期	D 単元　『自己をモデル化する知能』 【知識及び技能】 　論理の展開を的確に押さえ、筆者の主張をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術の進歩と人間の本質について、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。		○	○	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	E単元　『敬語への自覚、他者への自覚』 【知識及び技能】 　敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 【思考力、判断力、表現力等】 敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。		○	○	○	○	○	8
	F 単元　『スキーマと記憶』 【知識及び技能】 　実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、ものの見方を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割について的確に理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。		○	○	○	○	○	6

	定期考査					○	○		1
2学期	G 単元　『絵を見る技術』 【知識及び技能】 エピソードや具体例の役割に注意し、本文と図版を関係づけながら読む。 【思考力、判断力、表現力等】 絵を見る方法を的確に読み取り、ものの見方を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとしている。	○	○	○	○	○	8
	H単元　『社会的実在としての言語・法・貨幣』 【知識及び技能】 論の展開のしかたや、具体的なエピソードの意図を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 言語・法・貨幣がどのような存在かを読み取り、社会に対する認識を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
3学期	I 単元　『心に「海」を持って』 【知識及び技能】 文章全体の構成を意識して、筆者の主張をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 文明と海や人との関係を知り、普遍的な文明について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	○	○	8
	J 単元　『世界は、いま一「多文化世界」の構築』 【知識及び技能】 小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人１台端末の活用 一人１台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
									合計 70

週ごとの指導計画（単元指導計画）　新様式例

高等学校 令和６年度　　教科　　数学　　科目 数学Ⅱ

教　科：数学　　科　目：数学Ⅱ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組

教科担当者：発展：久保　、　標準：大井

使用教科書：（ 数学Ⅱ　Standard　　東京書籍　　）

使用教材：　（ 数学Ⅱ　WRITE　　）

教科の目標：

【知識、技能等】　基本的な概念・原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に着けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目　数学Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察することができる。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりすることができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１章　方程式・式と証明 【知識・技能】 ・３時の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができるようにする。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができるようにする。 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができるようにする。 ・２次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解できるようにする。 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその階を求められるようにする。 【思考・判断・表現】 ・式の計算の方法をすでに学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができるようにする。 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができるようにする。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	・指導事項 １節　①多項式の乗法と因数分解、二項定理 ②多項式の除法 ２節　①複素数とその計算 ②解の公式 ③解と係数の関係 ３節　①因数定理と簡単な高次方程式 ４節　①恒等式 ②不等式の証明	１章　方程式・式と証明 【知識・技能】 ・３時の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ・２次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその階を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・式の計算の方法をすでに学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

1学期	２章　図形と方程式 【知識・技能】 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や２点間の距離を表すことができるようにする。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができるようにする。 ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができるようにする。 ・簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができるようにする。 ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	・指導事項 １節　①２点間の距離 ②内分点・外分点 ③直線の方程式 ２節　①円の方程式 ②円と直線 ３節　①軌跡とその方程式 ②不等式の表す領域	２章　図形と方程式 【知識・技能】 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や２点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1

1学期	３章　三角関数 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解できるようにする。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解できるようにする。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解できるようにする。 ・三角関数の加法定理や２倍角の公式、三角関数の合成について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・三角関数に関する様々な性質について考察することができるようにする。 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができるようにする。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができるようにする。 ・２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 ※３章三角関数は１年次に学習済	・指導事項 １節　①一般角と弧度法 ②三角関数 ③三角関数の性質 ④三角関数のグラフ ⑤三角関数を含む方程式・不等式 ２節　①加法定理とその応用 ②三角関数の合成	３章　三角関数 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や２倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ・２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 ※３章　三角関数は１年次に学習済				0	※三角
2学期	４章　指数関数・対数関数 【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができるようにする。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解できるようにする。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができるようにする。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができるようにする。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができるようにする。 ・２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数・対数関数の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	指導項目・内容 １節　①指数の拡張 ②指数関数とそのグラフ ２節　①対数とその性質 ②対数とそのグラフ ③常用対数	４章　指数関数・対数関数 【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 ・２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数・対数関数の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	25	
	定期考査			○	○		1	

2学期	５章　微分と積分（微分） 【知識・技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができるようにする。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができるようにする。 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	指導項目・内容 １節　①導関数 ②導関数の計算 ③関数のグラフと増減	５章　微分と積分（微分） 【知識・技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3学期	５章　微分と積分（積分） 【知識・技能】 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	５章　微分と積分 ２節　①原始関数 ②定積分 ③面積	５章　微分と積分（積分） 【知識・技能】 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計 105

週ごとの指導計画（単元指導計画）　新様式例

高等学校 令和６年度　　教科　数学　　科目 数学Ａ

教　科：数学　　科　目：数学Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組

教科担当者：発展：久保　、　標準：西山

使用教科書：（ 数学Ａ　Standard　東京書籍 ）

使用教材：　（ 数学Ａ　WRITE ）

教科の目標：

【知識、技能等】　基本的な概念・原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に着けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】　事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目　数学Ａ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察する力、数学と人間の活動とのかかわりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1章　場合の数と確率 【知識・技能】 ・和集合、補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数えお求めることができるようにする。 ・順列の総数nPrや階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができるようにする。 ・円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができるようにする。 ・組合せの総数nCrを理解し、計算することができるようにする。 ・順列や組合せの考え方を用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができるようにする。 ・円順列や重複順列について図をかくなどしながら、原理を理解して立式し、場合の数の求め方を考察することができるようにする。 ・選び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合や図を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようする態度を養う。	・指導事項 1節　集合と場合の数 ①数え上げの原則と集合の要素の個数 ②順列 ③組合せ	1章　場合の数と確率 【知識・技能】 ・和集合、補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数えお求めることができる。 ・順列の総数nPrや階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ・円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。 ・組合せの総数nCrを理解し、計算することができる。 ・順列や組合せの考え方を用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができる。 ・円順列や重複順列について図をかくなどしながら、原理を理解して立式し、場合の数の求め方を考察することができる。 ・選び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合や図を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

1学期	1章　場合の数と確率 【知識・技能】 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めることができるようにする。 ・積事象や和事象、排反事象や確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができるようにする。 ・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象や余事象の確率を求めることができるようにする。 ・独立な試行と反復試行の確率について理解し、その確率を求めることができるようにする。 ・条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を計算することができるようにする。 ・期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・互いに排反でない２つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象の確率の求め方について考察することができるようにする。 ・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができるようにする。 ・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を確率の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・指導事項 ２節　確率とその基本性質 ①事象と確率 ②確率の基本性質 ３節　いろいろな確率 ①独立な思考の確率 ②反復試行の確率 ③条件付き確率 ④期待値	1章　場合の数と確率 【知識・技能】 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めることができる。 ・積事象や和事象、排反事象や確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象や余事象の確率を求めることができる。 ・独立な試行と反復試行の確率について理解し、その確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を計算することができる。 ・期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・互いに排反でない２つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象の確率の求め方について考察することができる。 ・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。 ・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を確率の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2学期	２章　図形の性質 【知識・技能】 ・三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比などについて理解し、それらを用いて線分の長さ求めることができるようにする。また、数直線上の内分点や外分点の座標を求めることができるようにする。 ・三角形の外心、内心、重心の性質を利用して、角の大きさや線分の長さを求めることができるようにする。 ・チェバの定理、メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができるようにする。 ・円のさまざまな性質を理解し、角の大きさを求めたり、状況を判断したりできるようにする。 ・方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができるようにする。 ・２つの円の位置関係から補助線を引くことによって、線分の長さを求めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・三角形の内角の二等分線と比の性質の証明をもとに、三角形の外角の二等分線と比の性質を証明できるようにする。 ・チェバのていりの証明について、面積比を利用して考察することができるようにする。 ・円に内接する四角形の定理や接弦定理などの証明について、円周角の定理を利用して考察することができるようにする。 ・方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考察することができるようにする。 ・２つの円の位置関係を理解し、そこに現れる図形の性質を利用して、２つの円の共通接線の本数を説明したり、考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形の性質の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	指導項目・内容 １節　三角形と比 ①三角形と比 ②三角形の外心、内心、重心 ③三角形の比の定理 ２節　円の性質 ①円の性質 ②方べきの定理 ③２つの円 ④作図の方法の考察 ３節　空間図形 ①空間における２直線、２平面の関係 ②直線と平面の関係	２章　図形の性質 【知識・技能】 ・三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比などについて理解し、それらを用いて線分の長さ求めることができる。また、数直線上の内分点や外分点の座標を求めることができる。 ・三角形の外心、内心、重心の性質を利用して、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ・チェバの定理、メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。 ・円のさまざまな性質を理解し、角の大きさを求めたり、状況を判断したりできる。 ・方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。 ・２つの円の位置関係から補助線を引くことによって、線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の内角の二等分線と比の性質の証明をもとに、三角形の外角の二等分線と比の性質を証明できる。 ・チェバのていりの証明について、面積比を利用して考察することができる。 ・円に内接する四角形の定理や接弦定理などの証明について、円周角の定理を利用して考察することができる。 ・方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考察することができる。 ・２つの円の位置関係を理解し、そこに現れる図形の性質を利用して、２つの円の共通接線の本数を説明したり、考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形の性質の考え方を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3学期	総合演習	指導項目・内容 ・場合の数と確率、図形の性質について基本事項を確認 ・場合の数と確率、図形の性質についてより発展的な問題に取り組む	・場合の数と確率、図形の性質について基本の概念を理解し、定理等を活用できる。 ・発展問題に取り組む中で、解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科 外国語　　科目 英語コミュニケーションⅡ

教　科： 外国語　　科　目： 英語コミュニケーションⅡ　　単位数： 3　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　B　組

教科担当者：（発展：小安永）　（標準：小野）　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ LANDMARK Fit English Communication Ⅱ（啓林館）、同ワークブック　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅡ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 第１章（Lesson1, Lesson2） 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 1)北欧女子が見つけた日本の不思議（３コマ漫画の説明） ＜不定詞の形容詞的用法・副詞的用法、動名詞＞ 2) 南極で暮らす皇帝ペンギンからのメッセージ（興味のある動物） ＜現在完了形（完了）、助動詞を含む受動態、間接疑問文、現在完了進行形＞ ・教材 教科書	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	20
									○	○		1
	B 単元 第２章（Lesson3,Lesson for Paragraph Writing 1） 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 1)世界を驚かせた新幹線清掃チームTESSEI（日本が誇れること） ＜分詞の形容詞的用法、形式目的語、ＳＶＯto不定詞＞ 2)順序を示しながら説明しよう／原因（理由）・結果を示して説明しよう ・教材 教科書	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	20

	ようとしている。											
	定期考査								○	○		1

2学期	C 単元 第３章（Lesson4、Lesson for Paragraph Writing 2)) 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 1）絶滅に瀕するタネを守るために活動する高校生の取組み（興味があること・夢中になれること） ＜複合関係代名詞、ＳＶＯ現在分詞、完了形の受動態、ＳＶＯ過去分詞＞ 2）２つのものを比べて説明しよう／例を挙げながら説明しよう ・教材 教科書	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
	D 単元 第４章（Lesson5, Lesson6） 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 1)建築家ガウディとその意志を継ぐ日本人彫刻家（感銘を受けた歴史上の建造物） ＜分詞構文、知覚動詞、付帯状況のwith＞ 2)江戸時代のリサイクル社会（「もったいない」と思うこと） ＜前置詞+関係代名詞、使役動詞、完了形不定詞＞ ・教材 教科書	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
3学期	E 単元 第５章（Lesson7, Lesson8） 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 1)山田周生さんのグローカルな取組み（地域を持続可能なところにするために何をすべきか） 〈強調構文、分詞構文完了形、部分否定＞ 2)ＡＩ技術が切り開く未来（ＡＩとの未来） ＜仮定法過去完了、ifを使わない仮定法過去、as if仮定法＞ ・教材 教科書	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科 外国語　　科目 論理・表現Ⅱ

教　科： 外国語　　科　目： 論理・表現Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（発展：横戸）　（標準：大橋）　（ 組：　）（ 組：　）（ 組：　）（ 組：　）

使用教科書：（ EARTHRISE English Logic and Expression II Standard （数研出版） ）

教科 外国語　　の目標：

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。	話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 話［や］	領域 話［発］	領域 書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 第１章（Part1 Lesson1-Lesson3） 「文化」をテーマに，動詞の現在形・過去形・完了形・未来を表す表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 「観光」をテーマに，助動詞 can, should, would, have to, must, should have+過去分詞を用いて，話したり書いたりして伝える。 「水資源」をテーマに，受動態の表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 各テーマについて、以下を目標とする。 【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとする。	・指導事項 さまざまな時を表す 可能・義務・必要などを表す 「～される」を表す ・教材 教科書、補助教材（NextStage英文法語法）			○	○	○	【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。	○	○	○	13
	定期考査								○	○		1

1学期	B 単元 第２章（Part1 Lesson4-Lesson6） 「ニュース・情報」をテーマに，不定詞・動名詞を用いて，話したり書いたりして伝える。 「映画・音楽」をテーマに，分詞を用いて，話したり書いたりして伝える。 「ファッション」をテーマに，関係詞を用いて，話したり書いたりして伝える。 各テーマについて、以下を目標とする。 【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとする。	・指導事項 「～すること」などを表す (to do / doing) doing / doneを使って説明する 人・物・時や場所などについて説明する ・教材 教科書、補助教材（NextStage英文法語法）			○	○	○	【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。	○	○	○	13
	定期考査								○	○		1

2学期	C 単元 第３章（Lesson7-Lesson8, Part2 Lesson1） 「本」をテーマに，比較の表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 「発明・便利なもの」をテーマに，仮定法の表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 「パーティー」をテーマに，「感謝する／謝罪する」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 各テーマについて、以下を目標とする。 【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとする。	・指導事項 比較を表す 仮定を表す 感謝する／謝罪する ・教材 教科書、補助教材（NextStage英文法語法）			○	○	○	【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。	○	○	○	13
	定期考査								○	○		1

2学期	D 単元 第４章（Part2 Lesson2-Lesson4） 「コンテスト・発表」をテーマに，「心配を述べる／励ます／感想を述べる」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 「食べ物・食事」をテーマに，「提案する／勧誘する／好みを述べる」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 「健康」をテーマに，「助言する／忠告する」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 各テーマについて、以下を目標とする。 【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとする。	・指導事項 心配を述べる／励ます／感想を述べる 提案する／勧誘する／好みを述べる 助言する／忠告する ・教材 教科書、補助教材（NextStage英文法語法）			○	○	○	【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。	○	○	○	13
	定期考査								○	○		1

3学期	E 単元 第５章（Part2 Lesson5-Lesson7） 「ボランティア」をテーマに，「依頼する」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 「暮らす場所」をテーマに，「賛成する／反対する」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 「選挙」をテーマに，「意見を求める／述べる」表現を用いて，話したり書いたりして伝える。 各テーマについて、以下を目標とする。 【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとする。	・指導事項 依頼する 提案する／勧誘する／好みを述べる 意見を求める／意見を述べる ・教材 教科書、補助教材（NextStage英文法語法）			○	○	○	【知識及び技能】 各指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。	○	○	○	13
	定期考査								○	○		1

週ごとの指導計画（単元指導計画）　新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科　理科　科目 化学基礎

教　科：理科　　科　目：化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：　第2学年　A組～B組

教科担当者：　佐藤　義幸

使用教科書：　（新編　化学基礎（東京書籍））

使用教材：　（ニューステップアップ化学基礎　新課程（東京書籍））

教科の目標：

【知識及び技能】　自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　化学基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1編 1章　化学とは何か 2章　物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 ・混合物を分離するための手法とそれぞれの特徴を理解することができるようにする。 ・物質の三態について、物質の温度変化やそれに伴う粒子の熱運動の状態と合わせて理解することができるようにする。 ・絶対温度とセルシウス温度との関係式を理解するとともにそれを活用する技能を身に付けることができるようにする。 ・炎色反応や沈殿反応などの元素を確認する実験等を通して、単体と化合物について、理解することができるようにする。 ・単体においては同素体をもつ元素についても理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間生活で起こる事象を物質の成分と構成元素の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 2編 1章　原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 ・原子の構造について中学で学習している原子核・陽子・電子・中性子の性質を理解するとともに、それらの数と原子番号及び質量数の関係について理解することができるようにする。 ・同位体について質量数（中性子数）の違いであることを理解するとともに、放射性同位体の利用についても理解することができるようにする。 ・原子の電子配置と周期律の関係について学び、価電子数と原子の性質は似ていることや希ガスやハロゲンなど族による原子の性質について理解することができるようにする。 ・典型元素と遷移元素の違いについて価電子数の関係と合わせて理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間生活で起こる事象を原子の構成と元素の周期表の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	・指導事項 1編 2章 1節　物質の成分 A　純物質と混合物 B　混合物の分離と精製 2節　物質の構成元素 A　元素 B　単体と化合物 C　元素の確認 3節　物質の三態 A　粒子の熱運動 B　物質の三態と状態変化 2編 1章 1節　原子の構造 A　原子 B　同位体 2節　電子配置と周期表 A　原子の電子配置 B　元素の周期表 ・指導教材 教科書、資料集、問題集 ・一人1台端末の活用　等	1編 2章 【知識及び技能】 ・混合物を分離するための手法とそれぞれの特徴を理解することができる。 ・物質の三態について、物質の温度変化やそれに伴う粒子の熱運動の状態と合わせて理解することができる。 ・絶対温度とセルシウス温度との関係式を理解するとともにそれを活用する技能を身に付けている。 ・炎色反応や沈殿反応などの元素を確認する実験等を通して、単体と化合物について、理解することができる。 ・単体においては同素体をもつ元素についても理解できる。 【思考・判断・表現】 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を物質の成分と構成元素の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 2編 1章 【知識及び技能】 ・原子の構造について中学で学習している原子核・陽子・電子・中性子の性質を理解するとともに、それらの数と原子番号及び質量数の関係について理解することができる。 ・同位体について質量数（中性子数）の違いであることを理解するとともに、放射性同位体の利用についても理解することができる。 ・原子の電子配置と周期律の関係について学び、価電子数と原子の性質は似ていることや希ガスやハロゲンなど族による原子の性質について理解することができる。 ・典型元素と遷移元素の違いについて価電子数の関係と合わせて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間生活で起こる事象を原子の構成と元素の周期表の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	13

	定期考査			○	○		1

1学期	2編 2章　化学結合 【知識及び技能】 ・イオンとイオン結合について、電子配置や価電子数をイオンの価数と関連付けて理解するとともに、イオン結合でできた物質についてその性質や組成式について理解することができるようにする。 ・イオン化エネルギーについて周期表や価電子数との関係性と結び付けて理解することができるようにする。 ・共有結合について、原子の電子式を理解し、電子配置と関連付けて理解することができるようにする。 ・分子の形成における分子内での電子配置を理解し、共有結合の本数や配位結合について理解することができるようにする。 ・分子からなる物質の性質及び電気陰性度と分子内の極性について理解することができるようにする。 ・金属結合について、自由電子と関連付けて金属結晶の性質やその利用について理解することができるようにする。 ・発展的な内容にはなるが、金属結晶の構造の種類（配位数や充填率など）の求め方を理解することができるようにする。 ・物質の性質がその物質の結合様式に大きく影響を受けていることを理解し、物質の結合様式を類推することができるようにする。 【思考・判断・表現】 物質の性質について、観察、実験などを通して探究し、化学結合における規則性や関係性を見いだして表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学結合の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	・指導事項 2編 2章 1節　イオンとイオン結合 A　イオンの生成 B　イオン化エネルギー C　イオン結合とイオン結晶 2節　分子と共有結合 A　共有結合と分子の形成 B　高分子化合物 C　配位結合 D　電気陰性度と分子の極性 E　分子間力と分子結晶 F　共有結合の結晶 3節　金属と金属結合 A　金属結合 4節　化学結合と物質の分類 ・指導教材 教科書、資料集、問題集 ・一人1台端末の活用　等	2編 2章 【知識及び技能】 ・イオンとイオン結合について、電子配置や価電子数をイオンの価数と関連付けて理解するとともに、イオン結合でできた物質についてその性質や組成式について理解することができる。 ・イオン化エネルギーについて周期表や価電子数との関係性と結び付けて理解することができる。 ・共有結合について、原子の電子式を理解し、電子配置と関連付けて理解することができる。 ・分子の形成における分子内での電子配置を理解し、共有結合の本数や配位結合について理解することができる。 ・分子からなる物質の性質及び電気陰性度と分子内の極性について理解することができる。 ・金属結合について、自由電子と関連付けて金属結晶の性質やその利用について理解することができる。 ・発展的な内容にはなるが、金属結晶の構造の種類（配位数や充填率など）の求め方を理解することができる。 物質の性質はその物質の結合様式に大きく影響を受けていることを理解し、実験を通して、物質の結合様式を類推することができる。 【思考・判断・表現】 物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学結合の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2学期	3編 1章　物質量と化学反応式 【知識及び技能】 ・各原子の相対質量とその同位体の存在比から原子量、そして分子量・式量を求めることができるようにする。 ・アボガドロ数の定義を物質量と関連付けて理解することができるようにする。 ・物質量1 molの物質の粒子数や質量・気体の体積との関係について理解できるようにする。 ・モル質量及び溶液のモル濃度について理解し、モル濃度から溶質の物質量を求めることができるようにする。 ・化学反応式についての決まりを理解し、一般的な物質の化学反応についての化学反応式を書くことができるようにする。 ・化学反応式の量的関係について理解し、化学反応に関与する物質とその量的関係について表すことができるようにする。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を物質量と化学反応式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	・指導事項 3編 1章 1節　原子量・分子量・式量 A　原子の相対質量 B　原子量 C　分子量・式量 2節　物質量 A　アボガドロ数と物質量 B　1 molの気体の体積 3節　溶液の濃度 4節　化学反応の表し方 A　化学反応式 B　イオンを含む化学反応式 （イオン反応式） 5節　化学反応式の表す量的関係 A　化学反応式の表す量的関係 ・指導教材 教科書、資料集、問題集 ・一人1台端末の活用　等	3編 1章 【知識及び技能】 ・各原子の相対質量とその同位体の存在比から原子量、そして分子量・式量を求めることができる。 ・アボガドロ数の定義を物質量と関連付けて理解することができる。 ・物質量1 molの物質の粒子数や質量・気体の体積との関係について理解できる。 ・モル質量及び溶液のモル濃度について理解し、モル濃度から溶質の物質量を求めることができる。 ・化学反応式についての決まりを理解し、一般的な物質の化学反応についての化学反応式を書くことができる。 ・化学反応式の量的関係について理解し、化学反応に関与する物質とその量的関係について表すことができる。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を物質量と化学反応式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

2学期	3編 2章　酸と塩基 【知識及び技能】 ・酸と塩基の定義（広義、狭義）について理解し、代表的な酸や塩基について、物質名と分子式を挙げ、またその価数についても理解することができるようにする。 ・酸・塩基の強弱について、電離度と関連付けて理解することができるようにする。 ・pHと水素イオン濃度の関係及び指示薬の名称と変色域について理解することができるようにする。 ・中和反応について理解するとともに、生成する塩について、塩の分類や正塩の液性を判断することができるようにする。 ・中和反応の量的関係について、酸・塩基の濃度や価数とともに理解することができるようにする。 ・滴定曲線について、酸・塩基の強弱や価数から反応に適切な曲線が判断できるようにする。 ・中和滴定において使用する実験器具の名称と正しい使用方法について、実験を通して理解することができるようにする。 ・中和滴定について、使用する酸・塩基の種類から適切な指示薬を判断できるようにする。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、酸と塩基における規則性や関係性を見いだして表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を酸と塩基の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	・指導事項 3編 2章 1節　酸と塩基 A　酸と塩基の性質 B　酸と塩基の定義 C　広い意味の酸・塩基 D　酸と塩基の価数 E　酸と塩基の強弱 2節　水素イオン濃度とpH A　水素イオン濃度 B　水素イオン濃度とpH C　pH指示薬とpHの測定 3節　中和反応と塩の生成 A　中和反応と塩の生成 B　塩の種類 4節　中和滴定 A　中和反応の量的関係 B　中和滴定 C　滴定曲線 ・指導教材 教科書、資料集、問題集 ・一人1台端末の活用　等	3編 2章 【知識及び技能】 ・酸と塩基の定義（広義、狭義）について理解し、代表的な酸や塩基について、物質名と分子式を挙げ、またその価数についても理解することができる。 ・酸・塩基の強弱について、電離度と関連付けて理解することができるようにする。 ・pHと水素イオン濃度の関係及び指示薬の名称と変色域について理解することができる。 ・中和反応について理解するとともに、生成する塩について、塩の分類や正塩の液性を判断することができる。 ・中和反応の量的関係について、酸・塩基の濃度や価数とともに理解することができる。 ・滴定曲線について、酸・塩基の強弱や価数から反応に適切な曲線が判断できる。 ・中和滴定において使用する実験器具の名称と正しい使用方法について、実験を通して理解することができる。 ・中和滴定について、使用する酸・塩基の種類から適切な指示薬を判断できる。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、酸と塩基における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を酸と塩基の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	3編 3章　酸化還元反応 【知識及び技能】 ・酸化、還元について、酸素や水素の授受及び電子の授受から酸化された物質、還元された物質を判断できるようにする。 ・酸化数の付け方を理解し、反応に関与する原子やイオンの酸化数の増減から酸化された物質、還元された物質を判断できるようにする。 ・代表的な酸化剤、還元剤の反応の実験等を通して、酸化剤、還元剤の半反応式について理解するとともに、一般的な酸化剤・還元剤の化学反応についての化学反応式を書くことができるようにする。 ・金属のイオン化傾向について、イオン化傾向の大小による金属の反応性の違いを理解することができるようにする。 ・電池の仕組みについて、電極の金属とイオン化傾向の関係を踏まえながら、電流が流れる仕組みを理解することができるようにする。 ・ダニエル電池の反応等から、様々な電池について、その材料や特性などを理解することができるようにする。 ・発展的な内容にはなるが、電気分解における陰極の還元反応、陽極の酸化反応について理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、酸化還元反応における規則性や関係性を見いだして表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を酸化還元反応の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	・指導事項 3編 3章 1節　酸化と還元 A　酸化と還元 B　酸化数と酸化還元反応 2節　酸化剤と還元剤 A　酸化剤と還元剤 B　電子の授受と酸化還元反応 C　酸化剤と還元剤のはたらきの強さ D　酸化還元滴定 3節　金属の酸化還元反応 A　金属のイオン化傾向 B　金属の反応性 4節　酸化還元反応の応用 A　電池のしくみ B　実用電池 C　金属の精錬 D　電気分解 ・指導教材 教科書、資料集、問題集 ・一人1台端末の活用　等	3編 3章 【知識及び技能】 ・酸化、還元について、酸素や水素の授受及び電子の授受から酸化された物質、還元された物質を判断できる。 ・酸化数の付け方を理解し、反応に関与する原子やイオンの酸化数の増減から酸化された物質、還元された物質を判断できる。 ・代表的な酸化剤、還元剤の反応の実験等を通して、酸化剤、還元剤の半反応式について理解するとともに、一般的な酸化剤・還元剤の化学反応についての化学反応式を書くことができる。 ・金属のイオン化傾向について、イオン化傾向の大小による金属の反応性の違いを理解することができる。 ・電池の仕組みについて、電極の金属とイオン化傾向の関係を踏まえながら、電流が流れる仕組みを理解することができる。 ・ダニエル電池の反応等から、様々な電池について、その材料や特性などを理解することができる。 ・発展的な内容にはなるが、電気分解における陰極の還元反応、陽極の酸化反応について理解することができる。 【思考・判断・表現】 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、酸と塩基における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を酸化還元反応の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科　地理歴史　科目 歴史総合

教　科： 地理歴史　　科　目： 歴史総合　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（A組：谷口　修太）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（『歴史総合　近代から現代へ』山川出版社 ）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。また諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　１章結びつく世界、２章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【知識及び技能】 ・アジア各地で大帝国が繁栄していたこと、ヨーロッパで成立した主権国家体制について、その特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アジア各地に成立した大帝国、ヨーロッパの海外進出による影響について、その過程や背景を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界とその中にある日本などの狭い地域ごとに近代化による影響を主体的に追究・考察する態度を養う。	・指導事項 第１章結びつく世界 １　アジア諸地域の繁栄と日本 ２　ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 第２章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 １　ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ２　アメリカ独立革命とフランス革命 ３　１９世紀前半のヨーロッパ ４　１９世紀後半のヨーロッパ ５　１９世紀のアメリカ大陸 ６　西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ７　中国の開港と日本の開国 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント掲示資料 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・１５～１６世紀におけるアジア各地のの大帝国の繁栄とヨーロッパで主権国家体制が成立しその特徴について理解している。またそれによる与えた影響についてまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・アジア各地に成立した大帝国、ヨーロッパの海外進出による影響について、多面的・多角的に考えることができる。またそれらが与えた影響がアメリカ大陸や中国や中東に近代化のきっかけになったことを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・江戸時代の日本の対外貿易を世界的な観点から構築し、ヨーロッパの近代化がアメリカやアジアにどのような影響を与え、現在まで影響しているのかを見出そうしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元　　第３章明治維新と日本の立憲体制、第４章帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 ・大政奉還後の明治新政府の成立や外交、日本における産業革命についてどのような過程で進められたのか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本に新たな「国民」という意識が誕生し、日本がどのような立ち位置なのか、「国民」の政治参加について当時の人々の考えを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本がアジアで初めて近代化が始まり、近代国家の成立により外	・指導事項 第３章明治維新と日本の立憲体制 １　明治維新と諸改革 ２　明治初期の対外関係 ３　自由民権運動と立憲体制 第４章帝国主義の展開とアジア １　条約改正と日清戦争 ２　日本の産業革命と教育の普及 ３　帝国主義と列強の展開 ４　世界分割と列強の対立 ５　日露戦争とその影響 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント掲示資料 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・明治新政府のもと、始められた近代化政策について、その外交、政治について内容と過程について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・日本の近代化が始まり、自由民権運動や憲法の制定について、日本にどのような影響を与えたのか、また外交政策の変化について、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アジアで初めて日本は近代化を行い、急激な変化に伴い、外交や政治、産業がどのような過程で進んだのか追究しようとしている。	○	○	○	12

	交や政治、産業がどのように変化したのか追究・考察する態度を養う。						
	定期考査			○	○		1

2学期	C単元　第５章第一次世界大戦と大衆社会　第６章経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・２度の世界大戦が起きた原因とその影響による社会の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・なぜ２度の世界大戦が起きたのかその背景を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・２度の世界大戦、世界恐慌や世界をはじめ日本国内の政治や産業の変化について、多面的・多角的に追究しようとしている。	・指導事項 第５章第一次世界大戦と大衆社会 １　第一次世界大戦とロシア革命 ２　国際平和と安全保障 ３　アジア・アフリカ地域の民族移動 ４　大衆消費社会と市民生活の変容 ５　社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 第６章経済危機と第二次世界大戦 １　世界恐慌の発生と各国の対応 ２　ファシズムの台頭 ３　日本の恐慌と満州事変 ４　日中戦争と国内外の動き ５　第二次世界大戦と太平洋戦争 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント掲示資料 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・２度の世界大戦が起きた原因と大戦後の社会の変化について理解し、日本もどのように変化したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・２度の世界大戦が起きた原因について、政治・思想・国民の心情など様々な角度から考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・２度の世界大戦での世界中の産業や政治の変化について、その背景と展開について様々な地域の状況を比較しながら検討しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	D単元　第７章戦後の世界秩序と日本の改革　第８章冷戦と世界経済 【知識及び技能】 ・第二次世界大戦後の新しい世界の秩序についてどのように国際社会が作り上げていったことについて理解し、再び世界を巻き込む戦いの始まりの流れについても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際連合が設立された背景や内容、しくみについて多面的・多角的に考察する。また、冷戦期に二つの自寧に分かれ、資本主義・社会主義の利点や限界についても考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第二次世界大戦の意義を戦後の国際社会がどのように考え、今日の世界にどのように反映されているのかを見出そうしている。	・指導事項 第７章戦後の国際秩序と日本の改革 １　新たな国際秩序と冷戦の始まり ２　アジア諸地域の独立 ３　占領下の日本と民主化 ４　占領政策の転換と日本の独立 第８章冷戦と世界経済 １　集団防衛体制と核開発 ２　米ソ両大国と平和共存 ３　西ヨーロッパの経済復興 ４　第三世界の連携と試練 ５　５５年体制の成立 ６　日本の高度経済成長 ７　核戦争の恐怖から軍縮へ ８　冷戦構造のゆらぎ ９　世界経済の転換 １０　アジア諸地域の経済発展と市場開放 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント掲示資料 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・第二次世界大戦後の占領下の日本や国際連合の成立、冷戦について時系列ごとに整理し、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・国際社会における国際連合の立ち位置はどのようなものであるか、国際連合が行ったことは現在にどのような影響をあたえたのかを資料から考察している。また冷戦についても両陣営が行った政策は現在にどのような影響を与えたのかを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・第二次世界大戦で起きた惨劇は現在にどのような影響を与えているのかについて現在の課題と比較しながら解決できるかを追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	E単元　第９章グローバル化する世界　１０章現代の課題 【知識及び技能】 ・冷戦の終結によるソ連の崩壊や様々な諸課題が現れたことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・冷戦終結後に多くの紛争が問題となったことについて背景や要員を多角的・多面的に考察する。また、それらによる日本の影響についても考察する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 第９章グローバル化する世界 １　冷戦の終結と国際情勢 ２　ソ連の崩壊と経済のグローバル化 ３　発展途上国の民主化と独裁政権の動揺 ４　地域紛争の激化 ５　国際社会のなかの日本 第１０章　現代の課題 １　現代世界の諸課題 ２　現代日本の諸課題 ・教材	【知識・技能】 ・ソ連の社会主義体制の改革「ペレストロイカ」や中東の紛争問題、日本での５５年体制の崩壊について、１つの地域だけを見るのではなく、比較しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ・ソ連崩壊後の地域紛争やテロなど国際情勢にどのような影響を与えたのか、多面的・多角的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代社会の諸課題について、分析方法や視点を設定し、他者と比較し自分の意見をより良いものに改善しようとしている。				

3学期	【学びに向かう力、人間性等】 ・ソ連の崩壊による影響や紛争にの波及、環境問題など多様な課題が顕著になったことについてどのような点に着目し、対応していけばよいかを追究する。	教材 教科書 ワークシート パワーポイント掲示資料 ・一人１台端末の活用　等	長、もりに設置しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科： 保健体育　　科　目： 体育　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：天野・中田

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館） ）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる力を養う。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 体ほぐしの運動 補強運動 新体力テスト ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	A　体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	4
	E　球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 男子：サッカー 女子：サッカー ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	12
	D　水泳 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養	・指導事項 背泳ぎ、バタフライ ・教材 教科書、プリント、各用具	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。				

	う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・一人1台端末の活用等	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	4
	H　体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 スポーツの発祥と発展 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用等	H　体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	2

2学期	D　水泳 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 背泳ぎ、バタフライ ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
	E　球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 バレーボール ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	F　武道 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などを用いた攻防を展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 柔道 ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などを用いた攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	C　陸上競技 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な	・指導事項 長距離走 ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画				

	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。		的自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	4
	H　体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 運動・スポーツの学び方 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用等	H　体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	2

3学期	E　球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 バスケットボール ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	4
	C　陸上競技 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 長距離走 ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
	H　体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 豊かなスポーツライフの設計 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用等	H　体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	2
							合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　　保健体育　　科目 保健

教　科： 保健体育　　科　目： 保健　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者： 中田

使用教科書： （新高等保健体育（大修館））

教科 保健体育　　の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	一単元　生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 ・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康 ・家族計画 ・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み ○教材 ・教科書 ・プリント ・パワーポイント ○一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。		○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	一単元　生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 ・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり ○教材 ・教科書 ・プリント ・パワーポイント ・小テスト ○一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。	○	○	○	5
	二単元　健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 ・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み ○教材 ・教科書 ・プリント ・パワーポイント ・レポート ・小テスト ○一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。	○	○	○	9

3学期	二単元　健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 ・保険制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に背う語セル社会に向けた環境づくり ○教材 ・教科書 ・プリント ・パワーポイント ・レポート ○一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。		○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 35

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度　　教科　家庭科　　科目 家庭基礎

教　科：家庭科　　科　目：家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　B　組

教科担当者：（　A組：宮之原　）（　B組：宮之原　）

使用教科書：（　高等学校　家庭基礎　持続可能な未来をつくる　（第一学習社）　　）
（　最新　生活ハンドブック　資料＆成分表（第一学習社））

教科　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】　人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	これからの生き方と家族 【知識及び技能】 ・人生にはライフステージごとに課題があることを理解し，その課題に取り組むための知識を身につける。 ・男女共同参画社会に向けての性別役割分業意識の問題，各種法令による取り組みの内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人の価値観・生活観はさまざまであり，生き方も人によって異なるという考えに立って，世代や文化の違いを越えて人の立場や気持ちを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族形態が多様化する中で，課題を明確にしつつ，家族・家庭の重要性について考えようとする。	・指導事項 これからの生き方と家族 ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・人生にはライフステージごとに課題があることを理解し，その課題に取り組むための知識を身につけている。 ・男女共同参画社会に向けての性別役割分業意識の問題，各種法令による取り組みの内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・人の価値観・生活観はさまざまであり，生き方も人によって異なるという考えに立って，世代や文化の違いを越えて人の立場や気持ちを理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族形態が多様化する中で，課題を明確にしつつ，家族・家庭の重要性について考えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	8
	経済生活をつくる 【知識及び技能】 ・政府・企業・家計の間の経済的なかかわり，およびそれぞれの役割を理解し，家庭経済および国民経済に関する基本的なしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家計収支のバランスをとることの大切さ，可処分所得の意味について思考を深め，適切に判断する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家計の収入と支出について関心を持ち，家庭生活の充実・向上をめざして意欲的に取り組む態度を養う。	・指導事項 経済生活をつくる ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・政府・企業・家計の間の経済的なかかわり，およびそれぞれの役割を理解し，家庭経済および国民経済に関する基本的なしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・家計収支のバランスをとることの大切さ，可処分所得の意味について思考を深め，適切に判断する能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家計の収入と支出について関心を持ち，家庭生活の充実・向上をめざして意欲的に取り組む態度を持っている。	○	○	○	5
	衣生活をつくる 【知識及び技能】 ・被服製作及び被服機能における知識・技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・被服の選択に関する基礎的・基本的な知識をもとに，衣生活の向上・充実に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・被服の起源に関心を持ち，人の暮らしと衣生活とのかかわりを明らかにすることに意欲的に取り組む。	・指導事項 衣生活をつくる ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・被服製作及び被服機能における知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・被服の選択に関する基礎的・基本的な知識をもとに，衣生活の向上・充実に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服の起源に関心を持ち，人の暮らしと衣生活とのかかわりを明らかにすることに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2学期	次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 ･生まれてくる新しい命は，家族の一員としてだけでなく，社会の一員としてもかけがえのない存在であることが理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子育てを社会で支えていくためにさまざまな制度や支援があることを認識し，その適用や課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が住む地域の子育て支援策を調べて意見交換するなど，主体的・積極的に課題に取り組む。	・指導事項 次世代をはぐくむ ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ･生まれてくる新しい命は，家族の一員としてだけでなく，社会の一員としてもかけがえのない存在であることが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・子育てを社会で支えていくためにさまざまな制度や支援があることを認識し，その適用や課題を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分が住む地域の子育て支援策を調べて意見交換するなど，主体的・積極的に課題に取り組んでいる。	○	○	○	14
	充実した生涯へ 【知識及び技能】 ・高齢者への社会的支援システムとしての介護保険などのしくみについて理解する。 ・高齢者の気持ちを理解すること，コミュニケーションをとることの重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者が活躍できる社会の実現に向けて，課題を見出し，思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者の生活に関心を持ち，その充実・向上のために課題を解決しようとする意欲をもつ。	・指導事項 充実した生涯へ ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・高齢者への社会的支援システムとしての介護保険などのしくみについて理解している。 ・高齢者の気持ちを理解すること，コミュニケーションをとることの重要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢者が活躍できる社会の実現に向けて，課題を見出し，思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活に関心を持ち，その充実・向上のために課題を解決しようとする意欲が見られる。	○	○	○	10
	ともに生きる 【知識及び技能】 ・老齢・病気・失業・障害など，生活上の変化により，みずからの努力だけでは自立した生活を維持できなくなることがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな困難をかかえている人と接するときに大切なことを考え，判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・福祉に関心を持ち，その充実向上をめざしてボランティア活動などへの参加意欲をもつ。	・指導事項 ともに生きる ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・老齢・病気・失業・障害など，生活上の変化により，みずからの努力だけでは自立した生活を維持できなくなることがあることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな困難をかかえている人と接するときに大切なことを考え，判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・福祉に関心を持ち，その充実向上をめざしてボランティア活動などへの参加意欲が見られる。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

３学期	食生活をつくる 【知識及び技能】 ・これからの食生活の向上を考えるうえでの必要な知識・技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の食生活を振り返り，課題を見出し，見直しをはかる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の現状について関心を持ち，問題点を解決しようとする姿勢が身につける。	・指導事項 食生活をつくる ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・これからの食生活の向上を考えるうえでの必要な知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・自分の食生活を振り返り，課題を見出し，見直しをはかることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活の現状について関心を持ち，問題点を解決しようとする姿勢が身についている。	○	○	○	12
	住生活をつくる 【知識及び技能】 ・自然との調和の中で快適に生きる住まい方（環境共生住宅）など，住まいの充実・向上に役立つ手法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・どのような住まい方をすれば，人と地球にやさしい住まい方ができるか，自分の価値観や生き方にあわせて思考・判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域の住環境について住みやすさ，地域コミュニティの観点から充実・向上に取り組む。	・指導事項 住生活をつくる ・教材 教科書、資料集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・自然との調和の中で快適に生きる住まい方（環境共生住宅）など，住まいの充実・向上に役立つ手法を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・どのような住まい方をすれば，人と地球にやさしい住まい方ができるか，自分の価値観や生き方にあわせて思考・判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地域の住環境について住みやすさ，地域コミュニティの観点から充実・向上に取り組むことができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　　水産　　科目 課題研究

教　科： 水産　　科　目： 課題研究　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～　　組

教科担当者：　　（A組：倉澤　清水　橋本　堺　網谷　西山 ）

使用教科書：（　　）

教科　水産　　の目標：

【知識及び技技】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　課題研究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	水産や海洋に関する課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 研究とは 【知識及び技能】 研究に関する基礎的な考え方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋を取り巻く課題を発見し，合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋を研究する事について自ら学び，海洋秩序や海洋の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 研究理解 ・教材 PCによる意義や方法の紹介 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 科学的な海洋の研究方法について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋を取り巻く課題を発見し，合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋について自ら学び，科学的に発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	B 投稿論文 【知識及び技能】 既存の先行研究について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 既存の先行研究から新たな課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 既存の先行研究について自ら学び，海洋秩序や海洋の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 論文理解 既存の論文を例として読解 内容確認（グループワーク） 内容発表（ゼミ形式） ・教材 プリント配布 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 論文について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 論文に記載している課題を発見し，合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 論文について自ら学び，発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	C 研究活動① 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し，それを解決するための策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び，海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（テーマ決め） ・教材 既存の論文 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し，合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び，発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
2学期	C 研究活動② 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し，それを解決するための策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び，海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（計画立案） 研究活動（実験、調査、情報収集） 研究活動（データ整理、分析） ・教材 既存の論文 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し，合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び，発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	30

３学期	C 研究活動③ 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し，それを解決するための策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び，海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（考察） 発表 ・教材 既存の論文 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し，合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び，発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
							合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和６年度（2学年用） 教科 水産 科目 海洋政策

教 科： 水産　　科 目： 海洋政策　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：倉澤 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 水産 の目標：

【 知 識 及 び 技 技 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋政策 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
海洋や水産に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	水産や海洋に関する課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	今後の海洋や水産業の課題を見据えて自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 海洋物理学 【知識及び技能】 海洋物理学の基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋物理学について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋物理学についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 海洋物理学 津波 コリオリの力 地衡力 ・教材 配布プリント 実験器具 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 海洋物理学に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 海洋物理学に関する課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋物理学について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	B 海洋環境学 【知識及び技能】 海洋環境学の基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境学について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋環境学についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 海洋環境学 生分解性プラスチック ・教材 配布資料 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 海洋環境学に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 海洋環境学に関する課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋環境学について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2学期	C 国際貢献 【知識及び技能】 海洋分野での国際貢献方法に関する基礎的な知識や技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋分野での国際貢献方法について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋分野での国際貢献についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 国際協力 開発途上国での水産と海洋の課題 ・教材 配布プリント ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 海洋分野での国際貢献に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 海洋分野での国際貢献に関する課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋分野での国際貢献に関する課題について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	D ICTと養殖業 【知識及び技能】 次世代の養殖分野に関する基礎的な知識や技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 次世代の養殖分野について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 次世代の養殖分野についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 ICT 世界の養殖業の流れ 今後の養殖業のスタイル ・教材 配布プリント ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 次世代の養殖分野に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 次世代の養殖分野に関する課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 次世代の養殖分野に関する課題について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

2学期	E　海洋物理学② 【知識及び技能】 海洋物理学の基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋物理学について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋物理学についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 海洋物理学 津波 コリオリの力 地衡力 ・教材 配布プリント 実験器具 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 海洋物理学に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 海洋物理学に関する課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋物理学について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	F　海洋生物学 【知識及び技能】 海洋生物学の基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋生物学について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋生物学についての知見や課題を自ら学び、その分野における課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 海洋生物学 絶滅危惧種 水産重要魚種の調査方法 ・教材 配布プリント 実験器具 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 海洋生物分野の新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 海洋生物分野の課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋生物分野の課題について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	F　水産経済学 【知識及び技能】 水産経済学に関する基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 水産経済学について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 水産経済学についての知見や課題を自ら学び、その分野における課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 水産経済学 経済学入門 水産と経済の関係 ・教材 配布プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 水産経済学分野の新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 水産経済学分野の課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水産経済学分野の課題について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
3学期	F　遺伝生物学 【知識及び技能】 遺伝生物学に関する基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝生物学について、データに基づいた科学的な思考力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝生物学についての知見や課題を自ら学び、その分野における課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 遺伝生物学 遺伝子操作と水産の関係 育種学とは ・教材 配布プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 遺伝生物学の新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝生物学の課題を発見し，その解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝生物学の課題について自ら学び，社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度　教科　水産　科目 海洋生物

教　科：水産　科　目：海洋生物　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　　組

教科担当者：（　A組：橋本(啓)　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 海洋生物（海文堂）　　）

教科　水産　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】水産や海洋に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

科目　海洋生物　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
海洋生物について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	海洋生物を取り巻く課題を発見し、海洋生物に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う	水産資源の管理や有効利用を目指して自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	海洋生物のあらまし 【知識及び技能】 海洋生物に関する基礎的な内容について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋生物を取り巻く課題を発見し，合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋生物について自ら学び，水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋生物のあらまし 　海洋生物の概要 　生態系 　生物の種と分類 　海洋生物と人間とのかかわり ・教材 　海洋生物に関連した最新情報が掲示されている記事 　単元に関連した研究論文 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 海洋生物の環境について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋生物に関する環境を取り巻く課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋生物に関する環境について自ら学び，水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2学期	海洋動物 【知識及び技能】 海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係に関する課題を発見し，地球環境や人間生活に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係について自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋動物 　海洋動物の生活 ・教材 　海洋生物に関連した最新情報が掲示されている記事 　単元に関連した研究論文 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 海洋動物について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋動物を取り巻く課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋動物について自ら学び，水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	海洋動物 【知識及び技能】 海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係に関する課題を発見し，地球環境や人間生活に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係について自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋動物 　無脊椎動物 ・教材 　海洋生物に関連した最新情報が掲示されている記事 　単元に関連した研究論文 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 海洋動物について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋動物を取り巻く課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋動物について自ら学び，水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

３学期	海洋動物 【知識及び技能】 海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係に関する課題を発見し，地球環境や人間生活に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋動物の分類，形態，生理，生態及び海洋環境との関係について自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋動物 　脊椎動物 ・教材 　海洋生物に関連した最新情報が掲示されている記事 　単元に関連した研究論文 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 海洋動物について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋動物を取り巻く課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋動物について自ら学び，水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度　　教科　　水産　　科目 水産海洋科学

教　科：水産　　科　目：水産海洋科学　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　　組

教科担当者：（　組：　清水　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 水産と海洋の科学（全国高等学校水産教育研究会）　　）

教科　水産　　の目標：

【知識及び技能】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　水産海洋科学　　の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	科学的な視点で水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	水産業や海洋関連産業の充実を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　海洋と生活 【知識及び技術】 水産や海洋と人間生活の関わりについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋について展望するとともに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 水産や海洋と人間生活について自ら学び、水産や海洋が人間生活に果たす役割について主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　海洋の知識 第2節　水産資源の育成と漁業 第3節　水産物の需要と流通 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 水産や海洋と人間生活の関わりについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋について展望するとともに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水産や海洋と人間生活について自ら学び、水産や海洋が人間生活に果たす役割について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第2章　海洋の科学 【知識及び技術】 海洋の地形や海水の組成と流動、海洋と生命の起源、鉱物資源やエネルギー資源、海洋の環境問題、異常気象と海洋の関係などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で環境問題や再生可能エネルギー開発など海洋における課題を発見し、合理的かつ創造的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋の持続的活用を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　海洋の地形と海水の組成 第2節　海洋と生命 第3節　海洋と気象 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 海洋の地形や海水の組成と流動、海洋と生命の起源、鉱物資源やエネルギー資源、海洋の環境問題、異常気象と海洋の関係などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で環境問題や再生可能エネルギー開発など海洋における課題を発見し、合理的かつ創造的に考察しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋の持続的活用を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	第1章　海洋の知識 1学期のものと同じ	・指導事項 第4節　食品としての水産物 第5節　船舶の役割 第6節　海洋政策と海洋関連産業 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	1学期のものと同じ	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第2章　海洋の科学 1学期のものと同じ	・指導事項 第4節　海洋の資源・エネルギー 第5節　深海の世界 第6節　海洋と環境問題 ・教材	1学期のものと同じ				

		教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等		○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3学期	第3章　水産の新しい展開 【知識及び技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　水産業の新しい展開 第2節　水産物の高度利用 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	第4章　海洋に関する探究活動 【知識及び技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節　探究活動の概要 第2節　探究活動の進め方 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（2学年用）教科　水産　科目　総合実習（探究系）

教　科：水産　　科　目：総合実習（探究系）　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組

教科担当者：清水

使用教科書：（　　）

教科　水産　　の目標：

【知識及び技術】　水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　総合実習（探究系）　　の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋の各分野について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	水産や海洋の各分野に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	水産や海洋の各分野に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	乗船実習 【知識及び技術】 海洋環境及び海洋生物に関して総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付け、船舶の運航に必要な基礎的な知識・技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境及び海洋生物に関する課題および海上での安全確保のための課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決策を見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋環境及び海洋生物に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して、自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	○航海実習 ・船内生活 ・出入港作業 ・航海当直業務 ・食事当番 ・避難訓練 ○海洋観測 ・海況漂流物等目視調査実習 ・データ入力・分析 ○生物調査 ・生物調査実習 ・魚体測定実習 ・プランクトンネット ○寄港地活動 ・水産関係施設見学 ・寄港地関係施設見学	【知識及び技術】 海洋環境及び海洋生物に関して総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付け、船舶の運航に必要な基礎的な知識・技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境及び海洋生物に関する課題および海上での安全確保のための課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決策を見いだそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋環境及び海洋生物に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して、自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	25
2学期	乗船実習 【知識及び技術】 海洋環境及び海洋生物に関して総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付け、船舶の運航に必要な基礎的な知識・技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境及び海洋生物に関する課題および海上での安全確保のための課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決策を見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋環境及び海洋生物に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して、自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	○航海実習 ・船内生活 ・出入港作業 ・航海当直業務 ・食事当番 ・避難訓練 ○海洋観測 ・海況漂流物等目視調査実習 ・データ入力・分析 ○生物調査 ・生物調査実習 ・魚体測定実習 ・プランクトンネット ○寄港地活動 ・水産関係施設見学 ・寄港地関係施設見学	【知識及び技術】 海洋環境及び海洋生物に関して総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付け、船舶の運航に必要な基礎的な知識・技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境及び海洋生物に関する課題および海上での安全確保のための課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決策を見いだそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋環境及び海洋生物に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して、自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	30

3学期	乗船実習 【知識及び技術】 海洋環境及び海洋生物に関して総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付け、船舶の運航に必要な基礎的な知識・技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境及び海洋生物に関する課題および海上での安全確保のための課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決策を見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋環境及び海洋生物に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して、自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	○航海実習 ・船内生活 ・出入港作業 ・航海当直業務 ・食事当番 ・避難訓練 ○海洋観測 ・海況漂流物等目視調査実習 ・データ入力・分析 ○生物調査 ・生物調査実習 ・魚体測定実習 ・プランクトンネット ○寄港地活動 ・水産関係施設見学 ・寄港地関係施設見学	【知識及び技術】 海洋環境及び海洋生物に関して総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付け、船舶の運航に必要な基礎的な知識・技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境及び海洋生物に関する課題および海上での安全確保のための課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決策を見いだそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋環境及び海洋生物に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して、自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度　　教科　　水産　　科目　　海洋環境

教　科：水産　　科　目：海洋環境　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　　組

教科担当者：（　A組：清水　）

使用教科書：（ 海洋環境（海文堂出版）　　）

教科　水産　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】	海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	水産や海洋環境に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　海洋環境　　の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	科学的な視点で海洋や海洋環境に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	海洋環境管理や海洋関連産業の充実を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 海洋と環境管理の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋と環境管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	海洋環境管理の概要 海洋環境における海洋の役割	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境管理に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋と環境の管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	1　漁場環境の調査 【知識及び技術】 漁場と漁場調査の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漁場管理・調査に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場と漁場調査について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	漁場の管理と調査 気象の観測法	1　漁場環境と調査 【知識及び技術】 漁場と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漁場環境管理に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場と環境の管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	1　漁場環境の調査 【知識及び技術】 漁場と漁場調査の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漁場管理・調査に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場と漁場調査について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	海洋の観測法 水温・流況 透明度・水色・深浅測量 波浪・潮汐・底質	1　漁場環境と調査 【知識及び技術】 漁場と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漁場環境管理に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場と環境の管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5

	1　漁場環境の調査 【知識及び技術】 　漁場と漁場調査の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　漁場管理・調査に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 　漁場と漁場調査について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	水質の調査	1　漁場環境と調査 【知識及び技術】 　漁場と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　漁場環境管理に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 　漁場と環境の管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 　海洋と環境管理の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋環境に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 　海洋と環境管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	海の構造 底質の調査	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 　海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋環境管理に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 　海洋と環境の管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 　海洋と環境管理の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋環境に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 　海洋と環境管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	生物の調査 地球環境の変化 DO、ｐH、栄養塩 食物連鎖、分布	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 　海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋環境管理に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 　海洋と環境の管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
3学期	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 　海洋と環境管理の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋環境に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 　海洋と環境管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	生物の季節変動 沿岸の地形 大気大循環 海流 熱塩循環	1　海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 　海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　海洋環境管理に関する課題を発見し，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 　海洋と環境の管理について自ら学び，安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
							合計 70